

非破壊センシングプラットフォームの構築

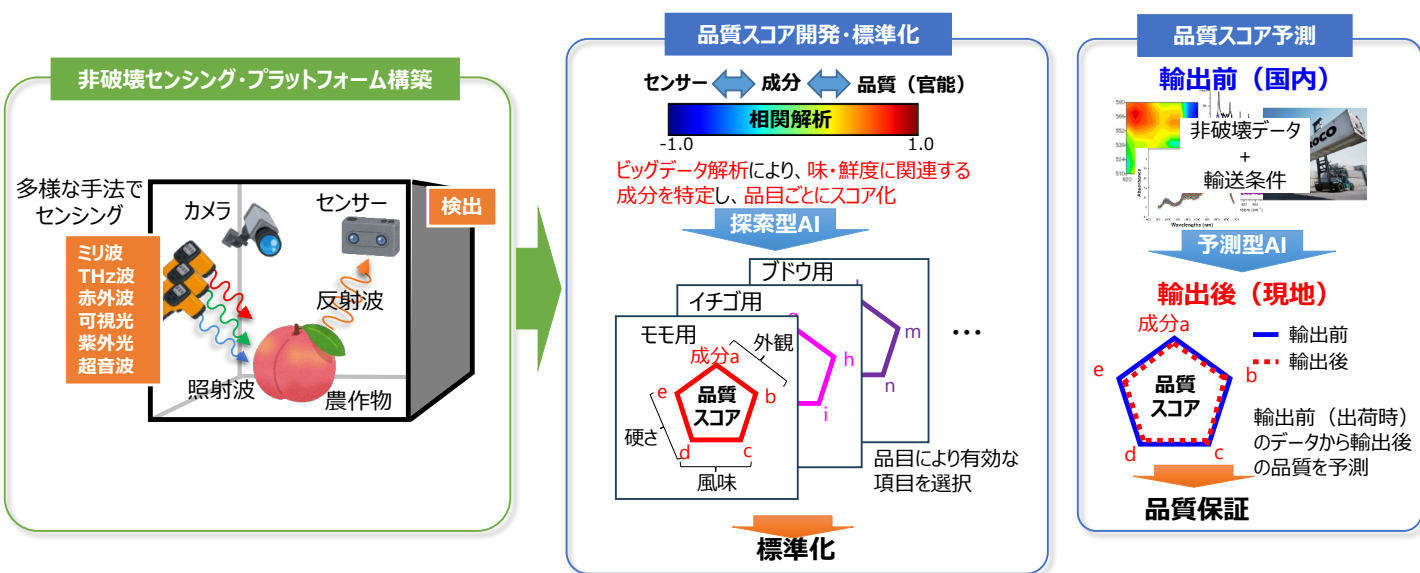
－ 農林水産物・食品の輸出拡大・加速化を目指して－

成果の特徴

- BRIDGE事業※にて、過去に開発した鮮度センサー（SIP第2期）や食味・食感センサー（NEDO）を拡張し、青果物の品質を見える化する「品質スコア」を出力可能な統合プラットフォームを構築します。

成果の内容

- 糖度選果で普及している近赤外分光センサーをベースに、テラヘルツ・ミリ波、超音波等を備えた非破壊センシングプラットフォームを構築します。
- 各種センサーデータの統合により、ヒトが感じる多面的な味・鮮度や関連する成分の非破壊同時分析（現状および将来予測）を可能とします。
- 青果物の品質は「品質スコア」としてレーダーチャート化されます。



想定される用途・連携希望先

- 農産物の国外輸出を想定した品質保証技術の提供・標準化
- 長距離輸送用の新規冷蔵コンテナの性能検証
- 輸出企業、選果機メーカー、標準化機関等との連携を希望します

参考

※内閣府・研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム（BRIDGE）研究開発型施策 R7-10「農林水産物・食品の輸出拡大を加速化する「革新的物流システム」の開発」